



本資料では、当ファンドのパフォーマンスについてお伝えするとともに、7月末に発表された欧州ストレステストの結果などにつきましてご紹介させていただきます。

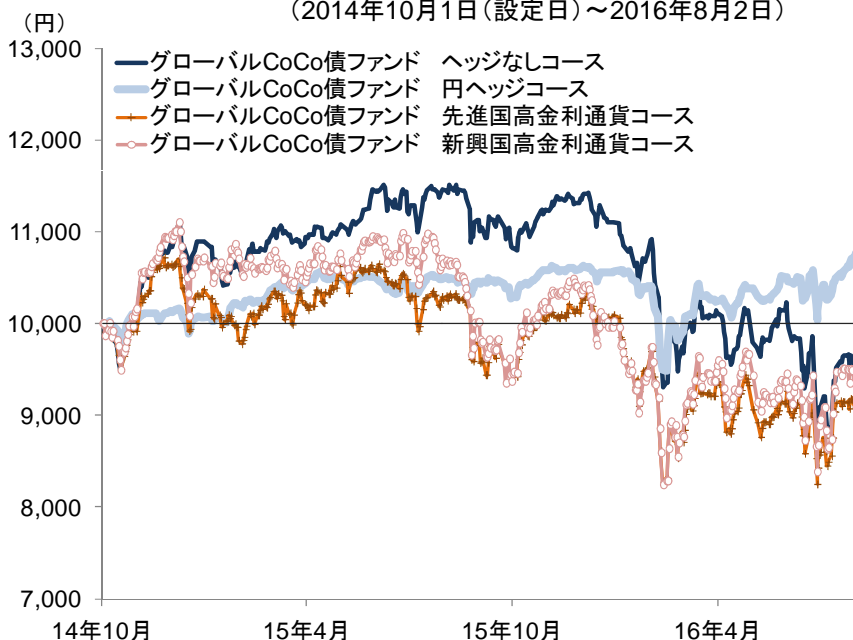
**基準価額の  
動向**

**「円ヘッジコース」の基準価額\*は、円高の影響を回避し、  
足元で、設定来高値を更新**

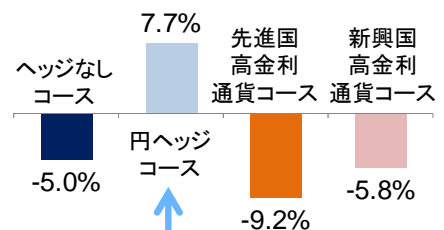
\* 税引前分配金再投資ベース

- 「円ヘッジコース」の基準価額(税引前分配金再投資ベース)は、設定来堅調なパフォーマンスとなっています。2016年に入り、欧州の一部銀行の収益性や不良債権問題に対する懸念などを背景とした投資家のリスク回避の動きとともに、CoCo債の価格が下落し、短期間で、基準価額が大きく値を下げられる場面もみられました。しかしながら、「円ヘッジコース」の基準価額は、足元では、設定来高値圏で推移する状況となっています。
- なお、「ヘッジなしコース」「先進国高金利通貨コース」「新興国高金利通貨コース」については、2016年に入り、円高の影響を大きく受ける状況となっています。

設定来の基準価額(税引前分配金再投資ベース)の推移  
(2014年10月1日(設定日)～2016年8月2日)



設定来騰落率  
(2016年8月2日時点)



「円ヘッジコース」は、CoCo債の堅調なパフォーマンスに加え、為替ヘッジによって円高の影響を回避したことに伴い、設定来、堅調なパフォーマンスを実現。

※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

※税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したもとして計算した理論上のものであることにご留意ください。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■ 当資料は、投資者の皆様にご理解を促すことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

CoCo債  
について

当ファンドの設定以降、  
CoCo債は堅調なパフォーマンスを辿る

- 当ファンドの設定(2014年10月1日)以降、CoCo債は、価格が大きく変動する局面を経ながらも、全体として堅調なパフォーマンスを辿っています。
- 2016年に入り、欧州の一部銀行の収益性や不良債権問題に対する懸念などから、CoCo債の価格は短期間で大きく下落する場面が何度かみられました。しかしながら、下落後の価格反発は大きく、これまで、下落分を比較的早く取り戻す傾向がみられました。
- 先進国を中心に低金利環境が継続するなか、CoCo債の相対的に高い利回り水準は魅力になっており、これが下落後の価格反発を支える大きな要因になっていると考えられます。

CoCo債指数(米ドルベース)の推移  
(2013年12月31日\*~2016年8月2日)

\* CoCo債の指数算出開始日



CoCo債指数 : BofAメリルリンチ・コンティンジェント・キャピタル・インデックス

信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

<あらためまして、CoCo債とは？>

発行体は世界の大手金融機関

CoCo債は、G-SIFIs(ジーシフィーズ)\*の銀行を中心とした金融機関が発行しています。G-SIFIsに認定された銀行は、世界の金融機関の中でもより高い健全性が求められます。

\* グローバルな金融システム上、重要な金融機関。(3ページにご紹介しています。)

相対的に利回り水準が高い

CoCo債は、同一発行体の普通社債や劣後債などと比べて利回り水準が高い傾向にあります。これは、発行体である金融機関の自己資本比率があらかじめ定められた水準を下回った場合などにおいて、元本の一部または全部が削減される、または、強制的に株式に転換されるなど、従前のハイブリッド証券(株式と債券の特徴を併せ持つ証券)と比べ複雑な仕組み(トリガー)を有していることなどが背景となっています。

※上記は、当ファンドのベンチマークではありません。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

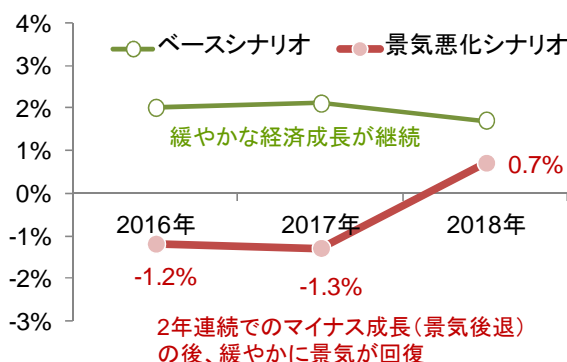
■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

トピック

## 2016年の欧州ストレステストにおいて、 欧州の大半の銀行で高い健全性が確認される

- 7月29日、EU(欧州連合)の銀行監督機関であるEBA(欧州銀行監督機構)は、主要51行(EUの銀行セクターの約70%の資産をカバー)の健全性を点検するストレステスト(資産査定)の結果を公表しました。
- 今回は、EUの経済成長率が2018年にかけて一時マイナス成長に陥ることなどを想定し、各銀行への影響を評価するものでした。結果は、注目されていたイタリアの大手銀行については、市場予想通り、景気悪化シナリオで、資本不足に陥る可能性が明らかとなったものの、大半の銀行については、資本増強が進んだことなどを背景に、健全性が認められる内容となりました。なお、前回(2014年)とは異なり、今回は、金融危機を概ね脱したとの理由で、個別銀行の合否判定はありませんでした。

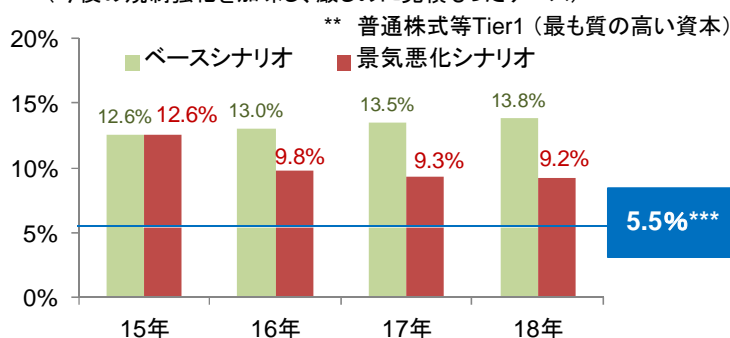
2016年の欧州ストレステストで想定されたEUの景気シナリオ\*(GDP成長率)



\* 景気悪化シナリオについては、欧州債務危機時(EUのGDP成長率は、2012年-0.4%、2013年+0.3%、2014年+1.4%)よりも厳しいシナリオを想定

想定シナリオごとの対象銀行全体の  
中核的自己資本\*\*比率の変化

(今後の規制強化を加味し、厳しめに見積もったケース)



\*\*\* 2014年のストレステストにおける合格ラインは5.5%。今回この水準を下回ったのは、イタリアの大手銀行(2018年:-2.44%)とアイルランドの大手銀行(2018年:+4.31%)の2行(全体の約4%)のみ。2014年は、約20%の銀行が同水準を下回り、不合格となった。

EBAの資料などをもとに日興アセットマネジメントが作成

### <G-SIFIsに含まれる30の銀行> (2015年11月公表)

#### 欧州 (15社)

★は今回の欧州ストレステストの対象行

HSBCホールディングス (英国)	★
パークレイズ (英国)	★
スタンダードチャータード (英国)	
ロイヤル・バンク・オブ・スコットランド・グループ (英国)	★
BNPパリバ (フランス)	★
BPCEグループ (フランス)	★
クレディ・アグリコル・グループ (フランス)	★
ソシエテ・ジェネラル (フランス)	★
クレディ・スイス・グループ (スイス)	
UBS (スイス)	
ドイツ銀行 (ドイツ)	★
サンタンデル銀行 (スペイン)	★
ユニクレディ (イタリア)	★
ING銀行 (オランダ)	★
ノルデア・バンク (スウェーデン)	★

#### 米国 (8社)

JPモルガン・チェース・アンド・カンパニー
シティグループ
バンク・オブ・アメリカ
ゴールドマン・サックス・グループ
モルガン・スタンレー
バンク・オブ・ニューヨーク・メロン
ステート・ストリート
ウェルズ・ファargo

#### 日本 (3社)

三菱UFJフィナンシャル・グループ
みずほフィナンシャルグループ
三井住友フィナンシャルグループ

#### 中国 (4社)

中国農業銀行
中国銀行
中国建設銀行
中国工商銀行

FSB(金融安定理事会)の資料などをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記銘柄について、売買を推奨するものでも、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

※グラフ・データは過去のものおよび想定であり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「グローバルCoCo債ファンド ヘッジなしコース/円ヘッジコース/先進国高金利通貨コース/新興国高金利通貨コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## アルジェブリス社からのコメント

### <欧州ストレステストについて>

- 今回のストレステストでは、新しい複数のショックや、EU周縁国に対するより厳しい取り扱いが適用されましたが、過去2年間におけるリスクエクスポージャーの低減などを背景に、銀行の自己資本比率の耐久度が高まっていることが示されました。
- ストレステストで最下位の評価となったイタリアの大手銀行については、自己資本不足や経営不振などが長らく認識されてきたため、今回の結果に意外感はありませんでした。なお、同行は、イタリアや欧州全域に金融システム不安が波及するのを回避することなどを狙い、7月29日に、最大50億ユーロの増資を含む再建策を発表しました。これを受け、イタリアの銀行セクターの株価に悪影響を及ぼしているシステミックリスクへの懸念が後退すると期待されます。

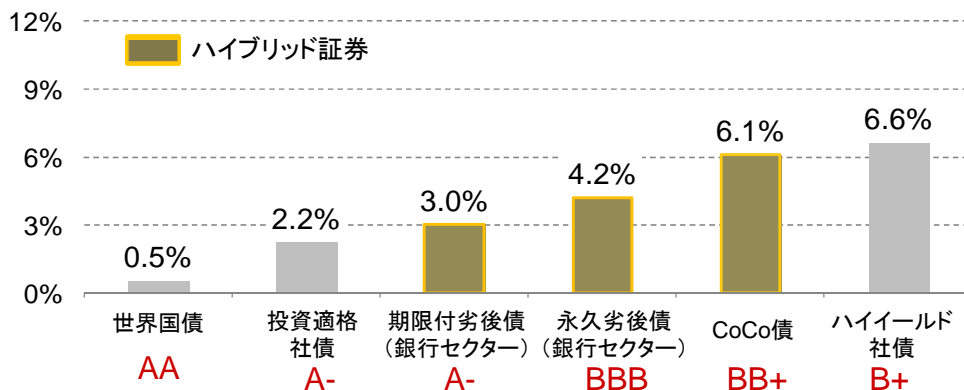
### <CoCo債についての見通し>

- 英国のEU離脱は、ECB(欧州中央銀行)や各国の中央銀行にさらなる金融緩和を求めるとみられ、今後数年にわたり、低金利環境が継続される可能性が考えられます。CoCo債が相対的に高い利回り水準を提供する貴重な資産クラスであることを踏まえると、利回り追求の動きとともに、今後も、機関投資家を中心にCoCo債への需要は拡大すると考えられます。
- 今回の欧州ストレステストで、欧州の大手銀行の健全性が確認されたことは、市場に一定の安心感を与えるとみられます。また、先日、ECBにより、CoCo債の利払いに関連する規制が明確化され、MDA(最大配分可能額)の抵触水準が若干緩和される形となりました。これに伴ない、利払い停止リスクの低下が期待されることは、CoCo債の投資家にとってポジティブと考えられます。
- 過去8年にわたる大手銀行の積極的な資本増強とリスク削減を勘案すれば、現在は、銀行のバランスシートが脆弱であった、リーマン・ショック前とは異なる状態と考えられます。昨今、銀行の収益力は従前より低下しているものの、バランスシートは遥かに強固なものとなっており、CoCo債投資において最重要視される、発行銀行の財務の健全性は飛躍的に向上しているとみられます。
- 当ファンドでは、引き続き、バランスシートが強固と判断される大手金融機関が発行するCoCo債を中心に投資し、パフォーマンスの向上をめざします。



上記は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド」の運用会社であるアルジェブリス・インベストメンツ(UK)エルエルピーからのコメントをもとに日興アセットマネジメントが作成したものです。

＜主な指数の利回りと平均格付＞  
(2016年7月29日現在)



世界国債 : バークレイズ・世界国債インデックス  
 投資適格社債 : バークレイズ・グローバル・アグリゲート・コーポレート・インデックス  
 期限付劣後債(銀行セクター) : バークレイズ・グローバル・キャピタル・セキュリティーズ・銀行セクター(Lower Tier2)インデックス  
 永久劣後債(銀行セクター) : バークレイズ・グローバル・キャピタル・セキュリティーズ・銀行セクター(Upper Tier2)インデックス  
 CoCo債 : BofAメリルリンチ・コンティンジェント・キャピタル・インデックス  
 ハイイールド社債 : BofAメリルリンチ・グローバル・ハイイールド・インデックス

※上記格付は、いずれも、公表されているものを日興アセットマネジメントがS&Pの格付表記に置き換えて掲載しています。

なお、バークレイズの指数の格付は、バークレイズが公表している指数の平均格付のうち高い方を掲載しています。

※上記は切り捨てにて端数処理しています。

信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

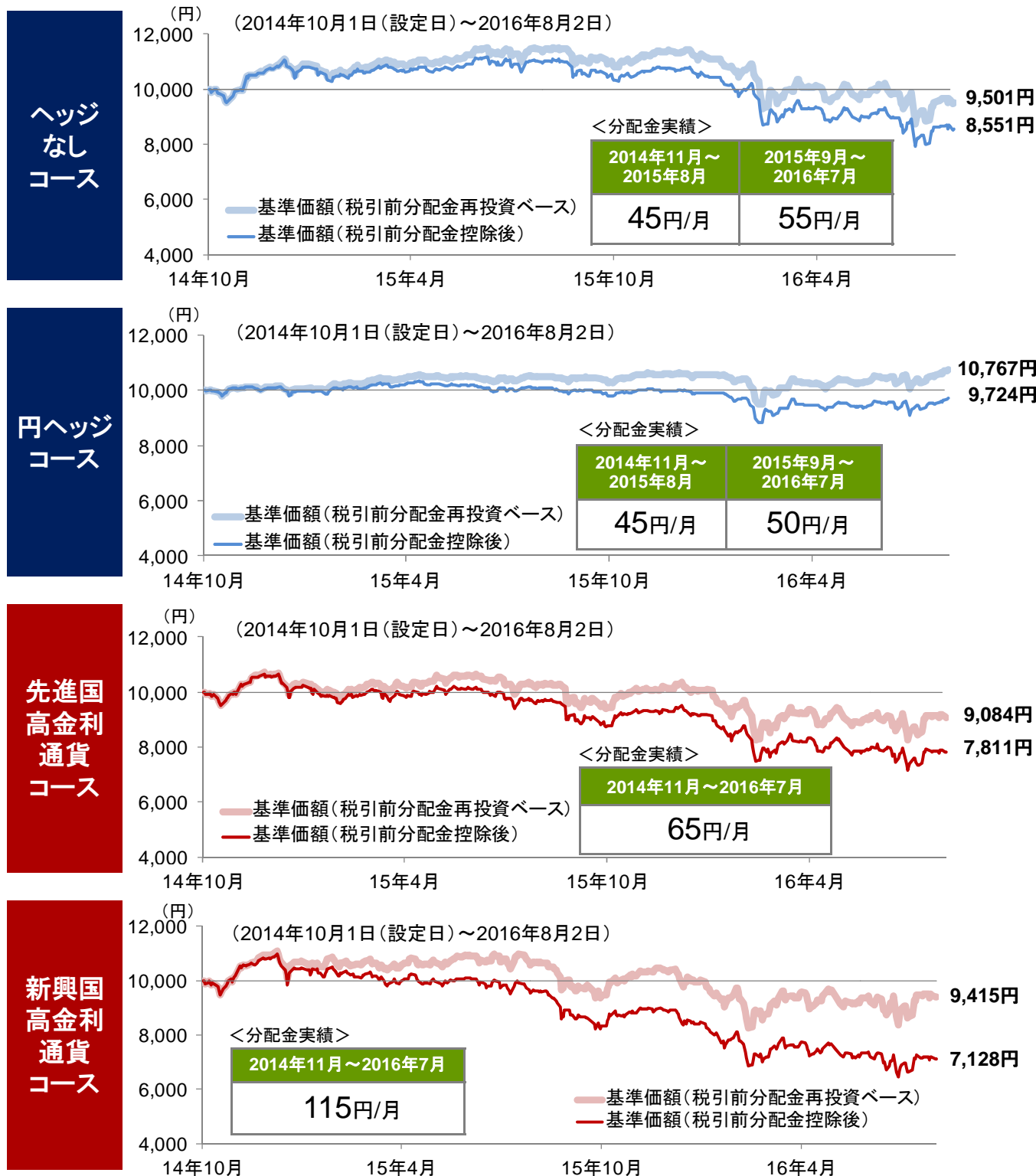
※上記は、当ファンドのベンチマークではありません。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

## アルジェブリス社について

- アルジェブリス・インベストメンツ(UK)エル・エル・ピーは、2006年に設立された英国の資産運用会社です。世界の金融機関が発行する証券の運用に特化しており、CoCo債投資においては、先駆的な運用会社です。
- 同社では、CoCo債が発行され始めた2009年からファンドへのCoCo債の組入れ実績があり、当ファンドの実質的な運用担当者は、金融セクターへの投資経験が豊富なだけでなく、CoCo債の商品性を熟知するエキスパートです。また、同社は銀行のバランスシート分析について専門性が高いことで知られており、当ファンドの実質的な運用を支える強みとなっています。

# 当ファンドの運用実績

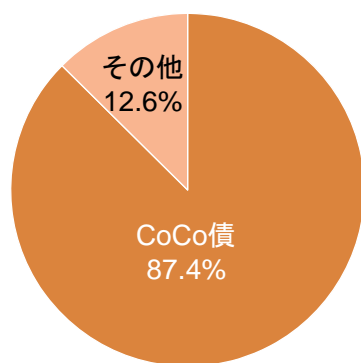


※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。  
 ※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の、分配金は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。  
 ※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したもとして計算した理論上のものであることにご留意ください。  
 ※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合があります。

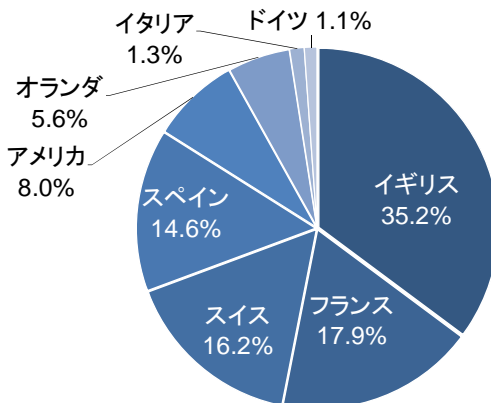
■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

# ポートフォリオの概況 (2016年6月30日現在)

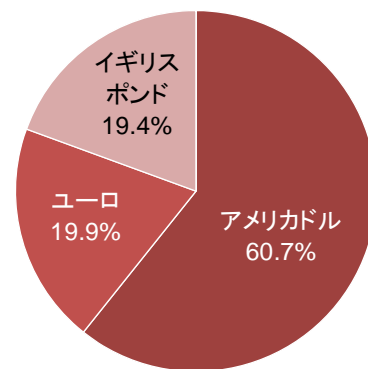
<証券種別構成比率>



<国別構成比率>



<通貨別構成比率>



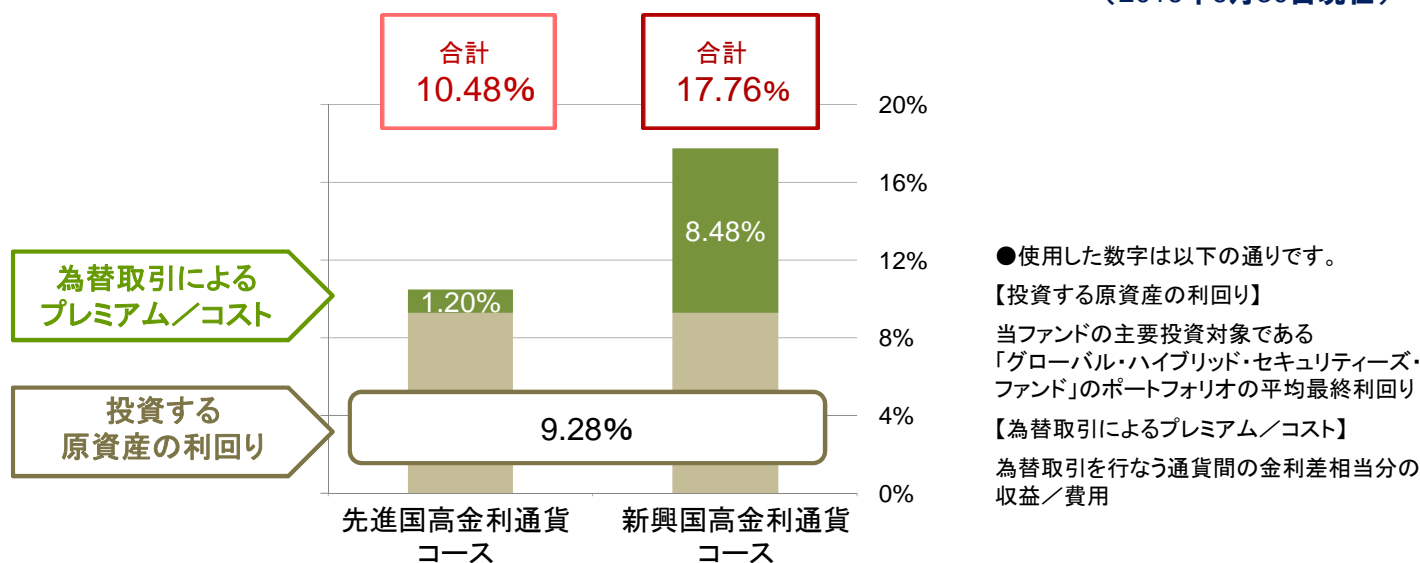
組入銘柄数	42銘柄	平均格付	BB+	平均最終利回り	9.28%	平均デュレーション	3.44年
-------	------	------	-----	---------	-------	-----------	-------

- ※ アルジェブリス・インベストメンツ(UK)エルエルピーより提供された情報です。
- ※ 当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド」における数値です。比率は組入証券の時価総額に対する数値です。
- ※ 平均格付とは、データ基準日時点で当外国投資信託が保有している有価証券などに係る信用格付を加重平均したものであり、当外国投資信託に係る信用格付ではありません。
- ※ 平均最終利回りは信託報酬、手数料および税金などを考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものでも、将来得られる期待利回りを示すものでもありません。
- ※ 最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りです。

## ご参考：投資する原資産の利回りと為替取引によるプレミアム／コスト

～「先進国高金利通貨コース」および「新興国高金利通貨コース」～

(2016年6月30日現在)



●使用した数字は以下の通りです。  
 【投資する原資産の利回り】  
 当ファンドの主要投資対象である「グローバル・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド」のポートフォリオの平均最終利回り  
 【為替取引によるプレミアム／コスト】  
 為替取引を行なう通貨間の金利差相当分の収益／費用

アルジェブリス・インベストメンツ(UK)エルエルピーより提供された情報に基づき日興アセットマネジメントが作成

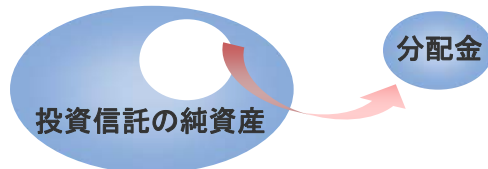
※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様に「グローバルCoCo債ファンド ヘッジなしコース／円ヘッジコース／先進国高金利通貨コース／新興国高金利通貨コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

### 投資信託で分配金が支払われるイメージ

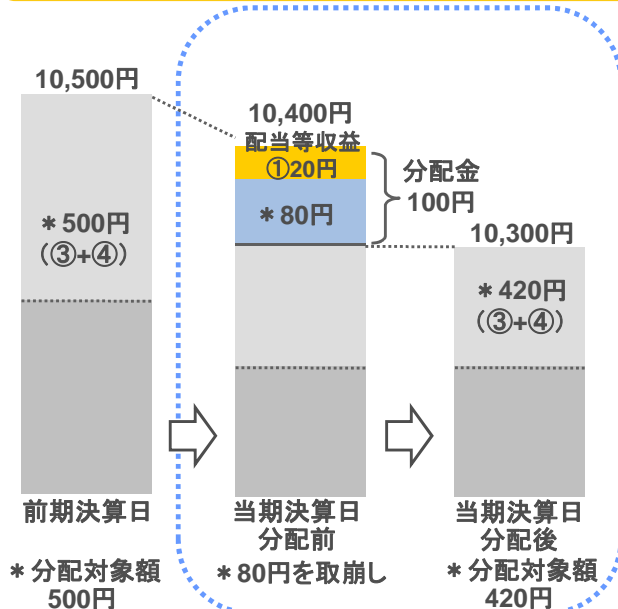
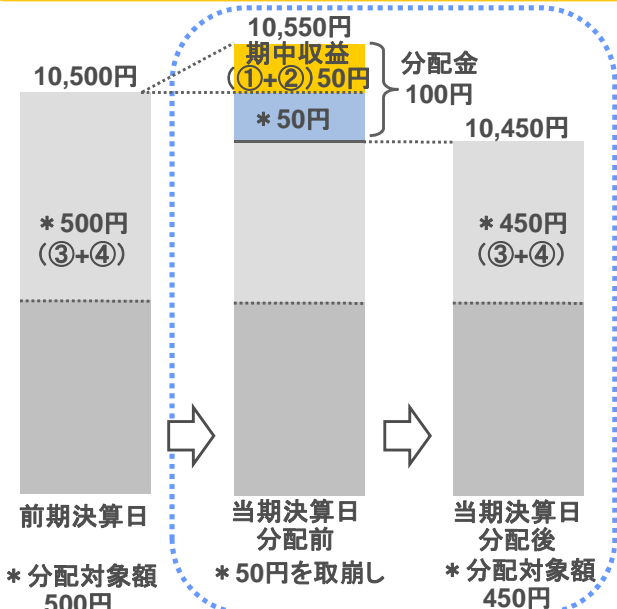


- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

#### 前期決算から基準価額が上昇した場合

#### 前期決算から基準価額が下落した場合



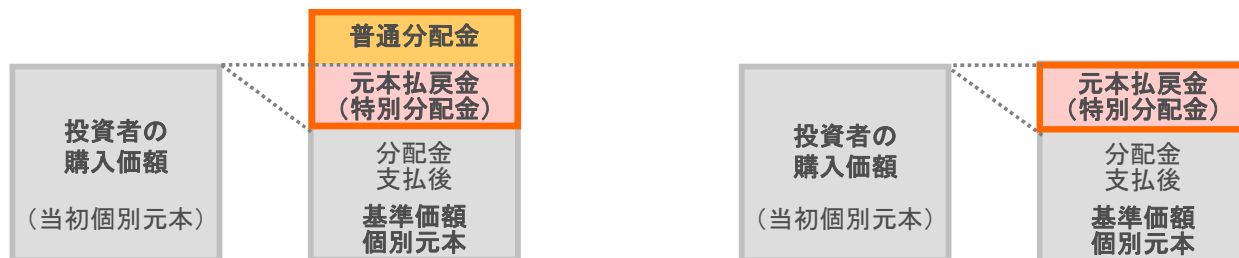
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

#### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

#### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金 (特別分配金) : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

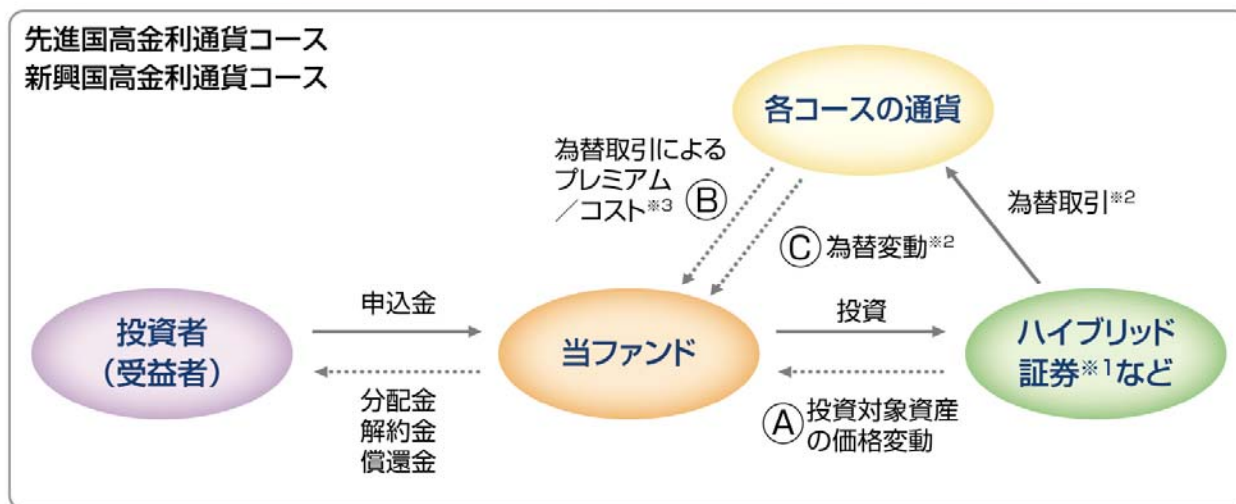


## 通貨選択型ファンドの収益に関する留意事項

(「先進国高金利通貨コース」と「新興国高金利通貨コース」が対象となります。)

- 通貨選択型の投資信託は、投資対象資産(ハイブリッド証券など)の運用に加えて、為替取引による通貨の運用も行っており、為替取引の対象となる通貨を選択することができます。

通貨選択型の投資信託のイメージ図



※1 当ファンドは、外国投資信託を通じてハイブリッド証券などに投資を行いません。  
 ※2 各コースの通貨と円の為替変動リスクがあります。  
 ※3 為替取引によるプレミアム/コストは、為替取引を行なう通貨間の金利差相当分の収益/費用です。

- 通貨選択型の投資信託の収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。なお、収益源である3つの要素にはリスクが内在しています。詳しくは、後述の「リスク情報」をご覧ください。

	(A)	(B)	(C)
収益の源泉	証券の値上がり/値下がり	為替取引によるプレミアム/コスト	為替差益/差損
先進国高金利通貨コース	収益を得られるケース ハイブリッド証券価格の上昇	プレミアム(金利差相当分の収益)の発生 各コースの 原資産通貨の通貨の金利* - 短期金利* がプラス	為替差益の発生 各コースの通貨に対して円安
新興国高金利通貨コース	損失やコストが発生するケース ハイブリッド証券価格の下落	コスト(金利差相当分の費用)の発生 各コースの 原資産通貨の通貨の金利* - 短期金利* がマイナス	為替差損の発生 各コースの通貨に対して円高

\*加重平均金利です。

※市況動向によっては、上記の通りにならない場合があります。

## 通貨運用に関する留意事項

- 各通貨の運用に当たっては、直物為替先渡取引(NDF取引)を活用する場合があります。
- NDF取引とは、投資対象通貨を用いた受渡を行わず、主に米ドル等による差金決済のみを行なう取引のことを言います。
- NDF取引では、需給や規制などの影響により、為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)/コスト(金利差相当分の費用)が、短期金利から算出される理論上の水準から乖離する場合があります。そのため、想定している投資成果が得られない可能性があります。

■ 当資料は、投資者の皆様へ「グローバルCoCo債ファンド ヘッジなしコース/円ヘッジコース/先進国高金利通貨コース/新興国高金利通貨コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## お申込みに際しての留意事項

### ■ リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主にハイブリッド証券を実質的な投資対象としますので、ハイブリッド証券の価格の下落や、ハイブリッド証券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

**【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】  
【ハイブリッド証券への投資に伴うリスク】【業種の集中に関するリスク】**

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### ■ その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様は「グローバルCoCo債ファンド ヘッジなしコース／円ヘッジコース／先進国高金利通貨コース／新興国高金利通貨コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

## ファンドの特色

1. 主として、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資します。
2. お客様の運用ニーズに応じて、通貨コースをお選びいただけます。
3. 原則として、毎月、収益分配を行なうことをめざします。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

## 委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 日本証券業協会
受託会社	三井住友信託銀行株式会社 (再信託受託会社:日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]http://www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
西日本シティ証券株式会社	金融商品取引業者 福岡財務支局長(金商)第75号	○			
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第8号	○			

(資料作成日現在、50音順)

■当資料は、投資者の皆様へ「グローバルCoCo債ファンド ヘッジなしコース/円ヘッジコース/先進国高金利通貨コース/新興国高金利通貨コース」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## お申込メモ

商品分類	追加型投信／内外／その他資産(ハイブリッド証券)
ご購入単位	購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
ご購入不可日	購入申込日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入のお申込みの受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	2024年8月19日まで(2014年10月1日設定)
決算日	毎月17日(休業日の場合は翌営業日)
ご換金不可日	換金請求日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、換金請求の受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

# 手数料等の概要

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時手数料率(スイッチングの際の購入時手数料率を含みます。)は、 <u>3.24%</u> ( <u>税抜3.0%</u> )を上限として販売会社が定める率とします。 ※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

※ 販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行なえない場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬	純資産総額に対して <u>年率1.766%(税抜1.69%)</u> 程度を乗じて得た額 信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.026%(税抜0.95%)、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.74%程度となります。受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
その他費用	目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、 <u>ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額</u> が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。 ※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。